

## 理工学部

### ■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

### ●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標をもっている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき\*理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人  
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」における内容の理解と数学的思考力

理 科—「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」,「地学基礎・地学」(受験者が入学試験で利用する科目)における内容の理解と科学的思考力

国語, 英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力, 読解力, 思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な, 地理歴史, 倫理, 政治・経済, 現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

### ●入学選抜の基本方針

一般選抜(前期日程)

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜(後期日程)

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力、さらに本学科の志望領域への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)

<次世代光フロンティア入試>

光システムコースへの入学希望者を対象に、個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。本選抜においては、発光・受光素子, 光材料, 光情報, 生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心とそれを学ぶために必要な基礎学力をもつとともに、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることへ意欲を有する入学者の受入を目的としています。

<理工学経験重視型入試(工業に関する学科を対象)>

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な入学者の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す)<主体性・創造性重視型>

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」,「知識・教養」,「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
志望調書	一般（後期）	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成（300字以内：40分）して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある（口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照）。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰ・次世代光フロンティア入試においては「資格・検定等」を併せて評価し、推薦Ⅰ・理工学経験重視型入試においては「意欲的に取り組んだ活動」で工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300～400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期） 一般（後期）			○	○	
志望調書	一般（後期）	○				
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ	○	○	○		
	推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般（前期） 一般（後期）			（総合判定の参考）		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）		